

# 取扱説明書

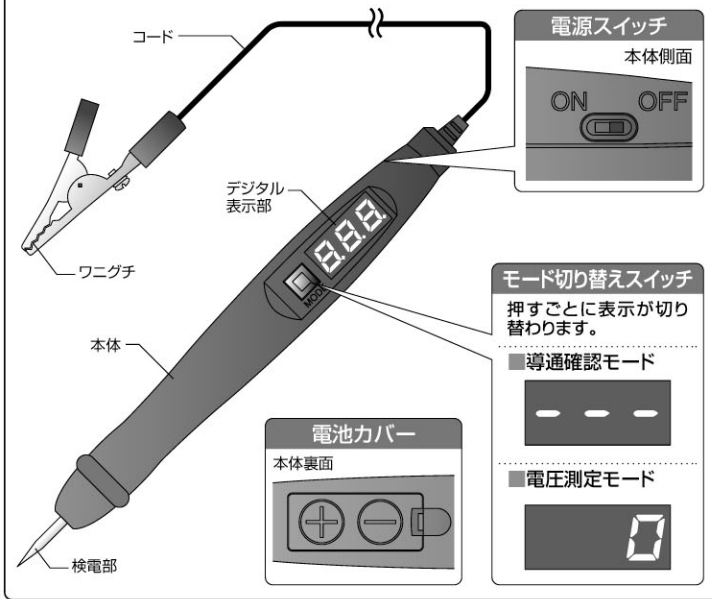


- 本製品はDC12V車専用です。DC12V車以外には使用しないでください。
- 本製品の測定精度はJISなどの規格に基づいたものではありません。表示はあくまで目安とし、精密に電圧を測定する場合は専用の測定機器をお使いください。
- 交流電圧(AC100Vなど)の測定には使用しないでください。

## 製品仕様

- DC12V車専用
- 使用電池:LR1130×2個
- 測定可能電圧:MAX DC18V
- 使用可能温度範囲:5~45℃
- コード:0.5sq×80cm

## 各部の名称



### オートOFF機能付き

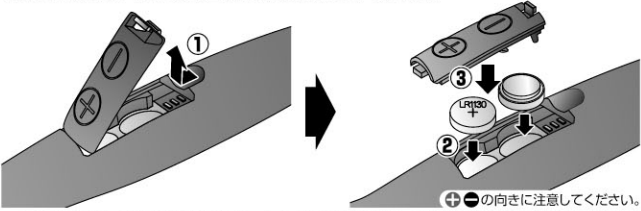
電源ONから5分が経過すると、切り忘れ防止機能により自動で電源がOFFになります。再度ご使用になる場合は、一度電源スイッチをOFFにし、もう一度ONにしてください。

### 使用電池



### ボタン電池の入れ方

下記を参考にボタン電池を入れてください。電圧が測定できなくなったりデジタル表示の照度が弱くなった場合は、電池を交換してください。



※付属のボタン電池は動作確認用です。ご使用前に新品のボタン電池に交換してください。

## クルマいじりでよくおこなう検電作業が1つでできる!

- 電圧値を知り、正しく電源を分岐したい。
- 常時電源・ACC電源を判別したい。
- パルス信号線を判別したい。
- メーターなどの照明色を変更するときに、照明用の電圧値を知りたい。
- ルームランプ・ドアスイッチ連動のマイナス線を特定したい。
- カプラーから出ているコードの極性を確認したい。
- ボルトがアースポイントかどうか判別したい。
- 断線箇所を特定したい。

電圧値のデジタル表示で通電確認ができる!

☀️ **通電確認をする** ➡️

マイナス線もデジタル表示で電圧値がわかる!(マイナス表示)

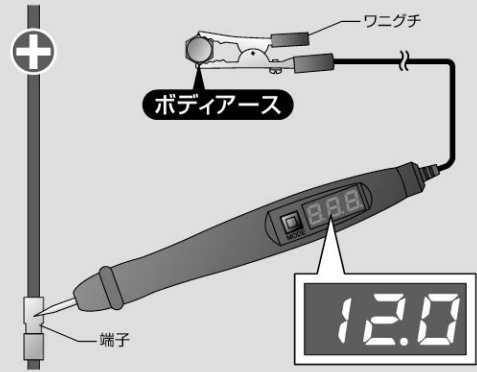
🌙 **極性確認をする** ➡️

2点間の導通を確認できる!

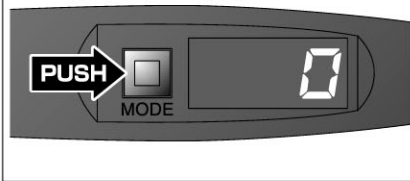
★ **導通確認をする** ➡️

# ☀️ 通電確認をする

配線コードの電圧を調べ、通電しているか(電圧がかかっているか)を確認します。

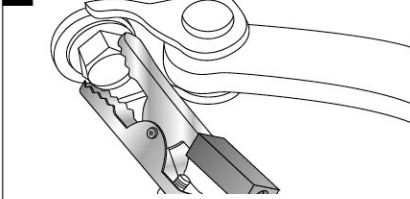


1



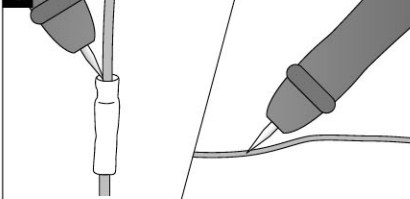
本体の電源スイッチをONにし、モード切り替えスイッチで電圧測定モードにセットしてください。

2



ワニグチで車両の金属部分(ボルト部)をはさんでボディアースをとってください。  
※ボディ塗装面・黒塗装のボルトは通電しにくい場合があります。

3



テスターの先端をチェックしたいコードの端子部に接触させるか、コード自体に突き刺してください。  
※コード自体に突き刺して通電確認した後は、必ず絶縁テープでコードを保護してください。

4

### 通電している場合の表示



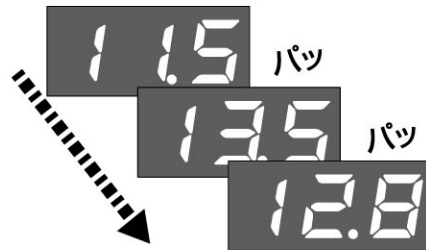
通電している場合は電圧値が表示されます。  
※チェックする配線により表示される電圧値は異なります。

### 通電していない場合の表示



通電していない場合は表示が変化しません。

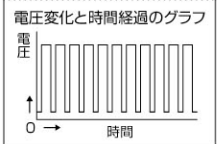
### パルス信号線の場合の表示



パルス信号線の場合は表示される電圧値がランダムに変化します。

### パルス信号線とは

電圧や電流の断続により車速や回転数などの情報を伝達している配線のことです。電圧値が絶えず変化しているため、電源取り出しには適していません。

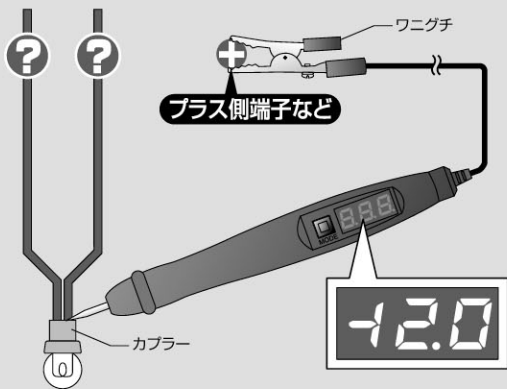


測定可能電圧を超えると「OL」と表示されます。その場合、該当箇所での電圧確認はおこなわないでください。「OL」と表示された箇所では検電をおこなうと、発熱により本製品が故障するおそれがあります。

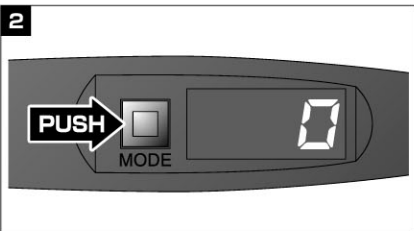


# 極性確認をする

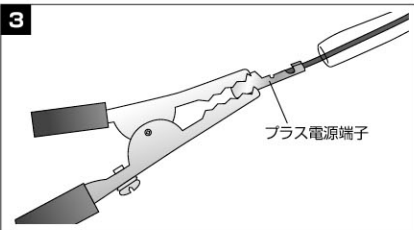
配線コードの電圧を調べ極性を確認します。



1 チェックする電装品のスイッチをONにしてください。



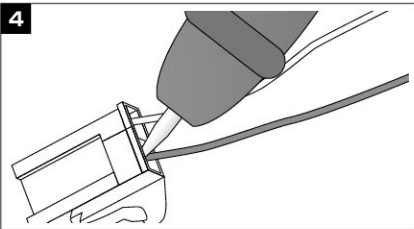
本体の電源スイッチをONにし、モード切り替えスイッチで電圧測定モードにセットしてください。



ワニグチでプラス電源の端子などをつかんでください。

ワニグチに金属部分が触れないよう注意してください。ショートの原因となります。

※ビニールテープなどを使用し、ワニグチと絶縁してください。



テスターの先端をチェックしたいカブラーの端子部に接触させるか、コード自体に突き刺してください。  
※コード自体に突き刺して極性確認した後は、必ず絶縁テープでコードを保護してください。

5 「マイナス表示」の場合



マイナスの電圧値が表示された場合は、6の作業をおこない、最終確認をしてください。  
※チェックする配線により表示される電圧値は異なります。

「0表示」の場合



表示が変化しなかった場合はプラス極性です。

6 電装品のスイッチをOFFにして、デジタル表示の変化を確認してください。



「0」と表示された場合がマイナス極性です。



「-12.0」と表示された場合はアース線です。

## 正しくお使いいただくために

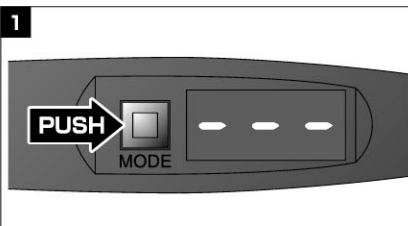
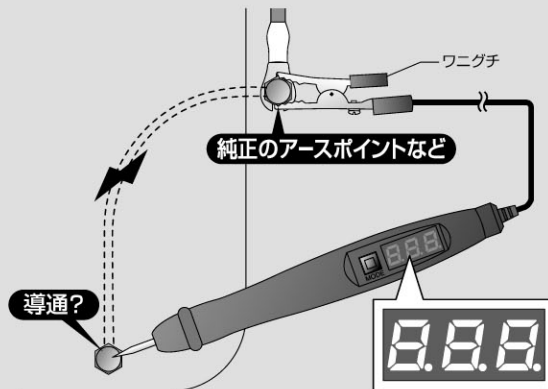
●使用後は電源スイッチがOFFになっている事を確認してから保管してください。●本製品はDC12V車専用です。DC12V車以外には使用しないでください。●本製品の分解・改造は絶対にしないでください。●本製品の先端部分は尖っています。取り扱いには充分注意し、使用後は必ず付属の先端キャップをつけて保管してください。●本製品を高温になる箇所で保管しないでください。温度変化による性能の劣化や、ボタン電池の液漏れの原因になります。●お買い上げ時に組み込まれている電池は動作確認用です。使用される場合は新品のボタン電池 (LR1130×2個) と交換してから使用してください。●電圧が測定できなくなったり、デジタル表示が見えなくなった場合はボタン電池を交換してください。●精密機器です。振動や落下により故障する恐れがありますので取り扱いには充分注意してください。●用途以外の使用はしないでください。●本製品は自動車用です。自動車以外には使用しないでください。  
※使用および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。  
※本製品を改造して使用された場合の事故について、当社は一切責任を負いません。

材質 本体/ABS  
基板/ガラスエポキシ  
ワニグチ/鉄(ニッケルメッキ)  
コード/導体:電気用軟銅線 絶縁被覆:塩化ビニール

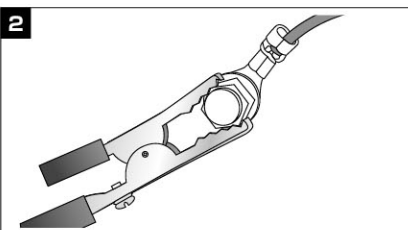
# 導通確認をする

車両のボルトや配線コードなどが導通しているか(電気が流れるか)を確認します。

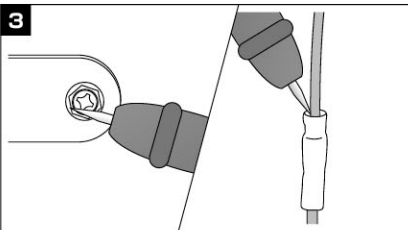
⚠ チェックする配線・機器の電源は必ずOFFにしてください。



本体の電源スイッチをONにし、モード切り替えスイッチで導通確認モードにセットしてください。



ワニグチを車両の純正アースポイントなど(ボルト部)にはさんでください。



テスターの先端をチェックしたいボルトに接触させてください。コードの場合は端子部に接触させるか、コード自体に突き刺してください。  
※コード自体に突き刺して導通確認した後は、必ず絶縁テープでコードを保護してください。

4 導通している場合の表示



3で調べた箇所とワニグチではさんだ箇所の間が導通している場合は「888」と表示されます。

導通していない場合の表示



アースポイントではない場合や、断線している場合(導通していない場合)は「---」と表示されます。

## 断線箇所の調べ方

テスター本体とワニグチを使い、電装品や接続箇所の間を1箇所ずつ調べてください。「---」と表示された箇所が断線箇所(導通していない箇所)です。

